

JSBB 感染予防対策ガイドライン【令和4年7月13日更新版】

(加盟団体・登録審判員・登録チーム用)

抜粋版

公益財団法人 全日本軟式野球連盟

*印は連盟にて追記の項目



1. 軟式野球の活動を行う皆さんへ

- ・活動の停止や大会参加への自粛が行われる場合、このことに対してチーム内、チーム関係者、保護者等の間で誹謗中傷が起きないようにご配慮ください。
- ・チーム及びスタッフ、審判員、大会関係者は、ガイドラインを遵守し、感染予防対策を実行してください。

◆共通感染予防対策

- ①毎日の健康チェックと行動記録
- ②マスクの着用 ※不織布マスクを推奨
- ③手指消毒の励行
- ④人混みを避ける

3. 【感染予防対策①】大会(イベント)開催時における注意事項

(1)参加募集時の対応(参加者への事前注意事項)

- ・大会(イベント)参加募集に際して、感染拡大防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求めることを通知すること。なお、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会(イベント)への参加を取り消したり、途中退場を求めたりする必要があることを周知すること。
- ・選手、チーム関係者は大会(イベント)実施の7日前から大会(イベント)当日までの健康管理、行動記録を記入し必要がある時には提示または提出するように案内すること。
- ・チーム関係者全員に、感染発覚の際は都道府県支部(連盟・協会)に情報提供する必要があることを周知する。
- ・選手、チーム関係者、役員、審判員は球場に入る際、必ずマスクを着用すること。

4. 【感染予防対策②】大会参加者の注意事項

(1)試合前に大会本部への提出物

- ・健康チェックシート(都道府県支部(連盟・協会)指定の様式をご使用ください。)

(2)注意事項 選手・指導者の注意事項

- ・大会期間中に感染者が発生(医療機関で確定)した場合には、大会本部で協議を行い、大会の継続および中止について判断する。
- ・練習及び試合において、選手同士が密集・密接となる場面での声出しは控える(円陣等)。
- ・ベンチ内においてマスク未着用での声出しや、肌が触れあうハイタッチは推奨しない。

* 円陣の禁止 勇気を鼓舞する等の為の大きな声出しの禁止

* ハイタッチの禁止

* コップ等の共用の禁止(コップ・タオル等を含む)

埼玉南部連盟

応援者について

・以下の表は応援方法の可能例（○）、禁止例（×）である。大会実施時の参考にとすること。

拍手	○	
通常の声援	×	(大声や両手をメガホン代わりに使うことは禁止)
*		応援歌の斉唱も禁止 埼玉南部連盟
タオル等を横に広げて左右に振る	○	(振り回すことは禁止)
ハイタッチ	×	手が触れなければ可)
鳴り物の応援	×	(ラッパ等の鳴り物を使用しての応援は禁止)
指笛の応援	×	
ホイッスル等の鳴り物応援	×	
メガホンを打ち鳴らし乍らの声援	×	(歓声を抑えてメガホンを打ち鳴らすことは可)
肩組等集団での動きを伴う応援	×	(チアリーディングによる応援も不可)

・万が一、感染者が発生した場合には都道府県支部(連盟・協会)に速やかに報告すること。
また、都道府県支部(連盟・協会)は、全日本軟式野球連盟に報告すること。

6. 【大会中止および出場辞退勧告について】

(1)感染拡大が懸念される場合

・関係する自治体や主催者が、感染拡大が懸念されると判断した場合は事業・活動を中止すること。

(3)辞退によりチームが大会に参加できない場合

(新型コロナウイルス感染症によりチームが大会参加できない場合を指す。)

- ・新型コロナウイルス感染症による出場(参加)辞退についてペナルティは課さない。
 - ・チーム事情によるものであるため、基本的には大会は実施/継続とする。
 - ・但し、一定数以上の辞退チームがある場合には大会中止を検討すること。目安としては、大会参加チーム数の20%以上の辞退チームがあれば大会中止を検討すること。
- なお、それぞれの主催団体および都道府県支部の裁量によって割合や大会中止可否を決定して構わないが、大会要項に記載するなど、参加チームに予め周知しておくことが必要である。

* 人数に関係なく、同時に5チーム以上に感染者が発生の場合は大会を中止とする。
* (トーナメント方式の場合の既敗戦チームを除く)
* 埼玉南部連盟

(4)出場辞退勧告について

- ・主催者は、出場チームが十分な回復期間が確保されない場合は、原則として出場禁止または参加資格を取り消すことができる。
- ・主催者は、大会までに陽性者の回復、濃厚接触者の隔離期間解除がなされない場合は、出場禁止または参加資格を取り消すことができる。
- ・主催者は、出場チームに感染疑いが生じて安全性の判明が間に合わない場合は、出場辞退を勧告し、または参加資格を取り消すことができる。
- ・主催者は、大会中に出場チーム(対戦相手チームの場合もある)に濃厚接触者や感染疑いが生じた場合は、出場辞退を勧告し、または参加資格を取り消すことができる。
- ・主催者は、大会中に出場チームに37.5度以上の発熱者および別に記載の新型コロナウイルス感染症を考慮する症状を有する者が生じた場合は、出場辞退を勧告し、または参加資格を取り消すことができる。
- ・主催者は、対戦済みの相手(敗退したチーム)に感染疑いが発覚した場合、勝利して次戦がある当該チームに対して棄権を勧告できる。